



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月1日  
上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社  
 コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	145,085	△2.3	42,664	△26.8	50,832	△27.5	53,023	1.3	53,131	1.5	51,076	△10.8
2021年3月期第2四半期	148,452	△9.3	58,266	△7.8	70,147	△0.7	52,340	△3.8	52,339	△3.8	57,235	116.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	176.24	176.18
2021年3月期第2四半期	170.47	170.40

（注）2021年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第2四半期の要約四半期連結財務諸表を遡及修正しております。

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,020,450	898,896	881,125	86.3
2021年3月期	998,992	864,550	846,108	84.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	53.00	—	55.00	108.00
2022年3月期	—	55.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	55.00	110.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	294,000	△1.1	90,000	△23.4	115,000	△19.6	100,000	△10.6	331.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	311,586,165株	2021年3月期	311,586,165株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	10,102,277株	2021年3月期	10,122,444株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	301,474,540株	2021年3月期2Q	307,037,868株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2021年11月2日（火）にアナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）の業績は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	増減率（%）
売上収益	145,085	148,452	△3,367	△2.3
営業利益	42,664	58,266	△15,602	△26.8
コア営業利益 <sup>※1</sup>	43,852	55,804	△11,952	△21.4
税引前四半期利益	50,832	70,147	△19,315	△27.5
親会社の所有者に帰属する四 半期利益	53,131	52,339	791	1.5

※1 会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目（減損損失、有形固定資産売却益等）を調整した利益となります。

※2 前連結会計年度において、Tetraの企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第2四半期連結累計期間の数値を遡及修正しております。

売上収益につきましては、前年同期比2.3%の減収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、インチュニブの売上収益が拡大しましたが、サインバルタの後発品参入の影響による売上収益の減少により前年同期比で僅かに減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましては、多剤耐性グラム陰性菌に効果を示すセフィデロコル（米国の製品名：Fetroja、欧州の製品名：Fetroja）が欧米で好調に推移したことに加え、米国において、FORTAMETの販売権等の移管に関する一時金を受領した結果、前年同期比58.2%の増収となりました。製造受託による売上収益につきましては、医薬品製造を請け負うナガセ医薬品を2020年度第3四半期連結会計期間に連結子会社化したことにより前年同期比25.1%の増収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブによる抗HIV薬テビケイ、トリーメク、ジャルカ及びドウベイトのグローバル販売は引き続き堅調であるものの、為替の影響により、同社からのロイヤリティー収入は前年同期比4.2%の減収となりました。また、HIVインテグラーゼ阻害薬S-365598の導出に伴う一時金をヴィーブより受領したものの、アストラゼネカからのクレストールのロイヤリティー収入は、契約に基づき2020年度第4四半期連結会計期間より受領額が減少したことから、ロイヤリティー収入全体では前年同期比15.5%の減収となりました。

利益面では、海外子会社及び輸出、製造受託の増収に伴い売上原価が増加した結果、売上総利益は前年同期比で6.0%減少しました。営業利益につきましては、セフィデロコルの販売活動費用の増加、新型コロナウイルス感染症に対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの研究開発投資により販売費及び一般管理費、研究開発費が増加した結果、前年同期比26.8%の減少となりました。コア営業利益は、有形固定資産の除却損や法人税等の還付加算金等を調整した結果、営業利益とほぼ同様の実績となり前年同期比で21.4%の減少となりました。税引前四半期利益につきましては、営業利益の減少に伴い、前年同期比27.5%の減少となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領した結果、前年同期比1.5%の増加となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は1兆204億50百万円で、前連結会計年度末に比べて214億58百万円増加しました。

非流動資産は、仕掛研究開発資産（無形資産に含みます）が増加した一方で、時価の下落等によるその他の金融資産の減少により4,385億28百万円となり、前連結会計年度末に比べて42億26百万円の減少となりました。流動資産は現金及び現金同等物、3ヶ月超の定期預金及び債券（流動資産のその他の金融資産に含みます）の増減等の結果、5,819億22百万円となり、前連結会計年度末に比べて256億84百万円増加しました。

資本については8,988億96百万円となり、四半期利益の計上、配当金の支払の結果、前連結会計年度末に比べて343億45百万円増加しました。

負債については1,215億54百万円で、前連結会計年度末に比べて128億87百万円減少しました。

非流動負債は、25億68百万円の減少となりました。流動負債は、主に法人税等の納付による未払法人所得税の減少等の結果、103億18百万円の減少となりました。

## (3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益が減少した一方、大阪国税局からの更正処分に対する取消請求訴訟の勝訴に関する還付金を受領したため、前年同期に比べ80億30百万円多い550億8百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の増減、余資運用に係る有価証券の取得等により、前年同期に比べ479億19百万円多い761億83百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額は増加した一方、前第2四半期連結累計期間は第三者割当による自己株式の処分があったため、前年同期に比べ323億86百万円多い183億24百万円の支出となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の増減額は401億14百万円の減少となり、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、2,360億59百万円となりました。

## (4) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月10日公表した2022年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 1. 連結業績予想の修正

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	290,000	90,000	115,000	100,000	331.71
今回修正予想 (B)	294,000	90,000	115,000	100,000	331.71
増減額 (B-A)	4,000	—	—	—	—
増減率 (%)	1.4	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	297,177	117,438	143,018	111,858	365.03

## 2. 連結業績予想の修正理由

売上収益につきましては、順調な上期実績を踏まえ、従来予想を上回る見通しです。利益面につきましては、売上収益予想の増加の一方、売上原価を含めた総コストのコントロールを徹底しながら、新型コロナウイルス感染症治療薬及びワクチンをはじめとする注力プロジェクトに対して引き続き積極投資を継続することで、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益としては従来予想通りの見通しです。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	148,452	145,085
売上原価	△22,857	△26,984
売上総利益	125,594	118,101
販売費及び一般管理費	△43,157	△44,248
研究開発費	△24,854	△28,175
製品に係る無形資産償却費	△1,611	△1,641
その他の収益	3,204	1,606
その他の費用	△909	△2,977
営業利益	58,266	42,664
金融収益	12,805	8,338
金融費用	△925	△170
税引前四半期利益	70,147	50,832
法人所得税費用	△17,806	2,191
四半期利益	52,340	53,023

四半期利益の帰属		
親会社の所有者	52,339	53,131
非支配持分	1	△107
四半期利益	52,340	53,023

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	170.47	176.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	170.40	176.18

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益	52,340	53,023
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するもの として指定した資本性金融商品の公正価値の純変動 額	1,907	△5,950
確定給付制度の再測定	1,576	623
純損益に振り替えられることのない項目合計	3,483	△5,326
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	3,555	1,228
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△2,144	2,150
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,410	3,379
税引後その他の包括利益合計	4,894	△1,947
四半期包括利益	57,235	51,076

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	57,233	50,892
非支配持分	1	184
四半期包括利益	57,235	51,076

## (2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	90,883	95,024
のれん	9,357	9,460
無形資産	76,558	78,231
使用権資産	4,827	4,142
投資不動産	26,759	26,528
その他の金融資産	217,437	208,559
繰延税金資産	11,729	10,795
その他の非流動資産	5,200	5,786
非流動資産合計	442,754	438,528
流動資産		
棚卸資産	38,003	40,316
営業債権	78,047	79,347
その他の金融資産	142,151	206,788
未収法人所得税	164	94
その他の流動資産	21,697	19,316
現金及び現金同等物	276,173	236,059
流動資産合計	556,238	581,922
資産合計	998,992	1,020,450

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	13,733	14,588
自己株式	△57,989	△57,851
利益剰余金	752,248	789,134
その他の資本の構成要素	116,836	113,973
親会社の所有者に帰属する持分	846,108	881,125
非支配持分	18,442	17,770
資本合計	864,550	898,896
負債		
非流動負債		
リース負債	4,608	4,169
その他の金融負債	5,242	4,480
退職給付に係る負債	16,318	15,560
繰延税金負債	7,749	7,149
その他の非流動負債	341	332
非流動負債合計	34,261	31,693
流動負債		
リース負債	3,379	3,264
営業債務	9,902	10,264
その他の金融負債	21,383	18,735
未払法人所得税	28,033	18,153
その他の流動負債	37,481	39,443
流動負債合計	100,180	89,861
負債合計	134,442	121,554
資本及び負債合計	998,992	1,020,450

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	21,279	21,025	△77,292	708,291	91,848	765,152	51	765,203
四半期利益				52,339		52,339	1	52,340
税引後その他の包括利益合計					4,894	4,894		4,894
四半期包括利益	-	-	-	52,339	4,894	57,233	1	57,235
自己株式の取得			△6			△6		△6
自己株式の処分		△4,705	38,404			33,698		33,698
自己株式の消却		△30,912	30,912			-		-
配当金				△16,100		△16,100		△16,100
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				1,576	△1,576	-		-
その他		35,919		△35,430	△488	△0		△0
2020年9月30日残高	21,279	21,326	△7,982	710,677	94,676	839,977	52	840,030

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2021年4月1日残高	21,279	13,733	△57,989	752,248	116,836	846,108	18,442	864,550
四半期利益				53,131		53,131	△107	53,023
税引後その他の包括利益合計					△2,238	△2,238	291	△1,947
四半期包括利益	-	-	-	53,131	△2,238	50,892	184	51,076
自己株式の取得			△6			△6		△6
自己株式の処分		△2	144			141		141
配当金				△16,580		△16,580		△16,580
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				623	△623	-		-
その他		858		△288		569	△855	△286
2021年9月30日残高	21,279	14,588	△57,851	789,134	113,973	881,125	17,770	898,896

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	70,147	50,832
減価償却費及び償却費	7,251	7,848
減損損失	—	125
金融収益及び金融費用	△12,208	△8,140
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	739	△379
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,306	△1,900
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△4,560	2,524
その他	△8,239	△2,236
小計	47,822	48,672
利息及び配当金の受取額	16,358	14,535
利息の支払額	△44	△46
法人所得税の支払額	△17,158	△21,358
法人所得税の還付額	—	13,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	46,978	55,008
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△86,638	△146,956
定期預金の払戻による収入	73,446	102,520
有形固定資産の取得による支出	△4,371	△6,107
無形資産の取得による支出	△3,234	△3,272
子会社の取得による支出	△3,221	—
投資の取得による支出	△62,070	△64,876
投資の売却による収入	57,298	42,300
その他	528	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,264	△76,183

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△1,795	△1,743
自己株式の取得による支出	△6	△6
自己株式の処分による収入	33,534	—
配当金の支払額	△16,093	△16,574
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,575	—
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,062	△18,324
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△1,200	△615
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	31,576	△40,114
現金及び現金同等物の期首残高	208,861	276,173
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,437	236,059

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。